

妊娠と降圧薬について

降圧薬は、血圧が高い人や心臓病などで血圧を下げた方がよい人が飲むお薬のことです。一般的に血圧が高いと、血管の内側の壁が傷ついて動脈硬化（血管の壁が硬くなる）を起こしてしまいます。こうした状態を長くそのままにしていると、脳卒中や心臓病、慢性の腎臓病などの重大な病気につながってしまうことがあります。

しかし、高血圧の場合、**高血圧だからといって何か特別な症状が出てくるわけではありません**。実はそれが高血圧の怖いところです。妊娠から出産までを健やかに過ごし、そして楽しく順調な子育てを始めるためには、妊娠前、妊娠中、お産後のいずれの期間も血圧が安定していることも大事です。

普段のご自身の血圧がどのくらいなのか、ご家庭でも血圧を測定してみませんか？もし普段から血圧が高いような場合には、必要に応じて血圧を下げるお薬を処方される場合があるかもしれません。**妊娠中に薬を飲むことがご心配でも、決して自分の判断でお薬をやめたりせず、主治医と相談しながら治療をしていきましょう**。以下に妊娠中でも安全に飲むお薬、妊娠中には避けた方がよいお薬をご紹介しますので、参考にしてください。

* 妊娠中でも安全に使用できる降圧薬

種類	薬品名	一般名
カルシウム拮抗薬	ニフェジピン	アダラート、セバミット、ニフェジピン
	アムロジピン	アムロジピン
α β 遮断薬	ラベタロール	トランデート
中枢性 α 2アゴニスト	メチルドパ	アルドメット
血管拡張薬	ヒドララジン	アブレゾリン

* 妊娠中は避けた方がよいとされる降圧薬

種類	薬品名	一般名
アンジオテンシン変換酵素阻害薬 (ACE阻害薬)	カプトプリル	カプトプリル
	エナラプリル	レニベース
	アラセプリル	セタプリル
	リシノプリル	ロンゲス、ゼストリル
	イミダプリル	タナトリル
	デモカプリル	エースコール
アンジオテンシンII受容体拮抗薬 (ARB)	ロサルタン	ニューロタン
	カンデサルタン	プロプレス
	バルサルタン	ディオバン
	テルミサルタン	ミカルディス
	オルメサルタン	オルメテック
	イルベサルタン	イルベサルタン
	アジルサルタン	アジルバ

(文責 川端伊久乃)

